野罌粟（のげし）

Chie Inudoh

聞こえるもの――あのひとの声。

聞こえないもの――それ以外。

どうだ？
聴こえる？
ザー
……
ザザー
……
ニャアア
アアオッ
どした？
……猫だ……
プルルル
ルルルル
！
ガチャッ
はい
世良です
申し訳ありません
奥様はしばらく
旅行で……
聴こえた！
おっ
間違い
ない
朔子の
声だ

ええ……
旦那様は
いつも夜遅く…
私が取り
次ぎます
ねー
ケンジ
最近 宗則
おかしくない？
それが試しに
貸してみたら
ハマっちゃって
盗聴ォ!?
声が
でけえよ
バカ
……
……
そういう趣味
あったっけ？
あいつ……
宗則元々
お坊ちゃんだろ
昔家政婦
やってた女
らしいよ

どうだよ収穫は

…少しね
朔子ってあのスゲー年上の女だろ？
そんなに好きなの？お前

朔子は俺が赤ん坊の頃に世話になったから……
ズッ
俺にとっては母親みたいなものなんだ

4

でもそうだな
好きなんだと思う

あーん

朔子
……
なんだ？これは……
私今日限りでここを辞めさせていただこうと思って……
きゃああ……っ
?!
なんか聴こえた？
わかってるのか？朔子
一度この家に使用人として入った以上は
この家の秘密をも知った事になる
誰かと話してんの？
しかも君はもうここを知りすぎた
簡単に辞められると思っているのか？
おーい

5

やめて下さい!!
本当に…もう嫌なんです!!
今更逃げるつもりか
こっちは君との一部始終を映したモノも持ってるんだ
アレがどうなってもいいのか?
お願いですから…!!
ギャアギャアわめくな
あ……いやあ…!!
……
……!!
……
……
いい加減俺にも聴かせろよ
俺が貸してやったんだぞ!

!!
いてェ…クソ
はっ
いいのかよ それで
ごめん……
助けたく ねえのか
仲間だろ
協力 するぜ

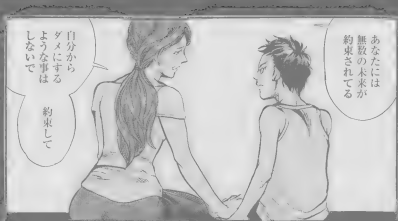
はぁ
……
はぁ
少し頭を冷やせ
引き止める手段はいくらでもあるからな
自分の立場を考えてみるんだ
……

だ…
誰だ
なんだァ
お前
警察を
呼ぶぞ…

うおら
かっ
からの小手返し
からの脇固め──ッ
くそっ……
……
!!
朔子
ちょうど通りかかって……
買い物の途中なの

ノリ
その人
知り合い？
ウン
ドーモ
はじめまして
よろしくっス
……
…変わった
わね 宗則
うん
友達
たくさん
できたろ
宗則
あなた
危ない事に
関わっちゃ
ダメよ
危なく
ないよ
皆いいやつ
だよ
セミ
いたぜ
いいねー
友達の間は
そうかもしれ
ないけど
ああいう
人脈は
広いから
あなたまだ
子供なのよ

あなたには
無数の未来が
約束されてる
自分から
ダメにする
ような事は
しないで
約束して

ダメになんか
しないよ
俺の仲間は
信頼できるよ
ひとりじゃ
できない事が
なんでも
できるんだ
大人しく
家で勉強しても
わからない事
ばっかりだ
朔子の
ほうこそ
自分の為に
なる事して
るのか？
何か
知ってるの？
……

見れば
わかるよ
昔の朔子は
もっと明るくて
元気だったのに
今は凄く
辛そうな
顔してる
…私も
もう30
だから
楽しい事
ばかりじゃ
ないのよ
でも
自分で選んだ
生き方なの
今更 愚痴も
後戻りも
許されない
それに私より
貴方のほうが
ずっと
選べない環境で
苦労してきた
はずよ……
幸せに
なって
宗則

昔の家政婦か
宗則がボンボンだったって話は本当だったのか
ボンボンって言うなよ
ただの汚い成金だよ
金なんて最低限あればいい
金の為だけに死ぬほど辛い思いをするくらいなら
そんな事辞めちまえばいいんだ
いやでも金は必要たろッ
俺セルシオ欲しいもん
じゃあ俺ヒーエム！
服とか女はいくらあっても足りねーぞ
わかんないなァ
持ってた奴にはわかんねえよ
……何があったんたろう
朔子

……
そんなに気になるか
こいつ貸してやるよ
…なんだこれ……
盗聴器だよ
女の持ち物に仕込め
いいのかよこういうの…
いいか宗則
俺たちは兄弟だ

困ってる時は助け合うのがルール
絶対に裏切らないのがルール
それがお前の正義なら付き合うぜ
俺たち全員で協力すれば無敵だ
なんだってできるぜ

朔子
宗則…ッ
……こいつでしょッ
ちょっと待ってて…

……っ
俺が消してあげる

嫌……
もう やめて!!
やめてよ 宗則!!
…!!
おい もう止めとけ
やりすぎだろ
もう とっくに 死んでる

……
朔子
…
今ほどくから
ぱっ
！
もう大丈夫だ
……
いいぞ入れ
ズラ

おい
おめーら
あんまり
音立てる
なよ！
うわっ
エグいな…
金庫の
場所は
わかるか
奥に隠し
棚がある
見とけ

じきに
警察が
来る
逃げよう
朔子

朔子…
大丈夫
ポロ
ポロ
俺が
守る
からさ

おしまい